



第21回通常国会、最終盤の攻防激化！ どうする日本？どうする長島？

侵略や核の脅しに対し 国際正義を示した G7 広島サミット

ロシアによるウクライナ侵略の暴挙が続く中で迎えた G7 広島サミットは、ゼレンスキー大統領が戦時下の祖国を離れ電撃参加するなど、歴史的に意義深い首脳会議となりました。

とりわけ、ロシアの核恫喝が繰り返される中で、原爆の爆心地広島において、「核の脅威なき世界平和」という国際正義を、先進 7 か国のみならず、豪州や韓国といった同志国はじめインドやインドネシア、ベトナム、そして太平洋諸国フォーラムの議長国クック諸島などグローバルサウスを代表する各国首脳の間で共有し、世界に向かって発信できたことは大きな成果です。

法の支配に基づく自由で開かれた 国際秩序を守り抜く

今回の G7 広島サミットの最大のテーマは、中露を枢軸とした「力による一方的な現状変更」の挑戦から国際秩序を守り抜くことでした。

その目標を実現できたのは、昨年末の安全保障 3 文書によって我が国の戦後防衛政策を大きく転換し、日米同盟を中心に抑止力・防衛力の抜本的な強化を図る政治決断を行うことによって、議長国・

日本が確固たるリーダーシップを示すことができたからだと考えます。

強固な抑止力を基盤に、インドや豪州を巻き込んだ「クワッド」の連携、日米韓の協力、グローバルサウスとの協調を推進する戦略的な外交を展開することができたのです。

私は、安全保障のエキスパートとして、また、超党派人権外交推進議連の会長として、引き続き責任ある日本外交の推進のために全力を尽くしてまいります。

終盤国会に残された 3 つの課題

その中で、終盤国会の重要課題を 3 つ挙げたいと思います。第一に、防衛力強化のための基金を創設する「防衛費増額財源確保法案」の早期成立です。第二に、こども政策推進のための財源確保です。第三に、憲法審査会の審議促進です。

防衛財源に増税は不要

冒頭に述べたように、力強く戦略的な外交を推進するためには、その基盤としての防衛力強化が不可欠です。とりわけ、財政的な裏付けを明らかにし国民の理解を得ることは政治の責務です。

その際、自民党内でも未だ決着を見ていませんが、

長島昭久プロフィール

(裏面につづく)

自由民主党・衆議院議員(7 期目)。東京 30 区(府中市・多摩市・稲城市)選挙区支部長。
衆議院東日本大震災復興特別委員会 委員長、安全保障委員会 委員。自民党 児童の養護と未来を考える議員連盟 会長
日本スポーツ協会理事、日本スケート連盟会長、東京都銃剣道連盟会長、東京都ディスクゴルフ協会名誉会長。
昭和 37(1962)年 2 月 17 日生まれ。寅年。慶應義塾大学大学院修了。米国ジョンズ・ホプキンス大学で修士号取得。これまでに、防衛大臣政務官、首相補佐官、防衛副大臣を歴任。趣味は大相撲・スケート観戦、読書、水彩画。妻と娘 2 人の 4 人家族で府中市に在住。